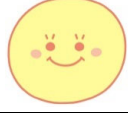





ロボット支援根治的前立腺全摘術を受けられる方へ

◆ 私たちは、入院生活や治療が順調に進むように下記の計画に基づき援助します。

| 日付 | | 入院当日 | 手術当日 | | 術後1日目 | 術後2日目 | 術後3～4日目 | 術後5日目 | 術後6日目～退院日 |
|---------|-----|---|--|---|---|---|--------------------------------|---|--|
| | | | 術前 | 術後 | | | | | |
| 活動 | 安静度 | 病院内でご自由にお過ごしください。 | 病棟内でお待ちください。 | | ベッド上安静です。寝返りを打つことはできますが、起き上がることはできません。 | 医師の許可後、歩行が可能となります。最初の歩行は必ず看護師と一緒に歩行しますので、ベッド上でお待ちください。 | 医師より制限がない場合は病院内を自由に過ごすことができます。 | | |
| | 排泄 | | | 尿道に管が留置されており、この管より自然と排尿されます。 | 尿道に管が留置されています。歩行に問題がなければ、排便の際はトイレに移動できます。 | | | | 尿道の管を抜きます（術後6日程度）初回の排尿後にエコーを当てて残尿を確認します。 |
| | 清潔 | シャワー浴を行います。剃毛と臍処置があります。 | | | | 看護師が体をタオルで拭き、着替えをお手伝いします。 | ドレーンが抜けたら、午後からシャワー浴が可能です。 |  | |
| 食事 | | 夕食まで食べられます。水分は21時まで飲めます。 | 飲んだり、食べたりはできません。 | | 回診後、医師の許可があれば、お水を飲むことが可能となります。 | 術後の状態を見て、食事が再開となります。はじめは全粥から開始となります。 | | | |
| 検査 | | 採血があります。 |  | | 採血があります。お部屋でレントゲンを撮ります。 | | | 採血があります。 | |
| 処置 | | 眠前にセンノサイドを内服します。入院時、身長・体重測定を行います。 | 朝に浣腸をします。 | 点滴や酸素マスクがあります。フットポンプを装着します。お腹にドレーンという管が入っています。 | 朝、呼吸状態を見て酸素マスクを外します。 | | 量と性状を見て、ドレーンが抜去されます。 | | |
| 注射 | | | | 終日、点滴をしています。 |  | 夕方の検温時に発熱がなければ点滴が終了となります | | | |
| 内服薬 | | 薬剤師から持参薬調査があります。お薬は眠前まで通常通りに内服します。 | 医師より指示のあった薬のみ内服します。 | 内服は中止になります | 医師より指示のあった薬のみ内服を再開します。 |  | | | |
| 教育説明その他 | | 手術後に必要になる物品の準備をお願いします（腹帯1枚、テープタイプの紙おむつ1枚、曲がるストロー1本） | 弾性ストッキングを着用します。手術室に入るまで、眼鏡は使用できませんが、時計、コンタクト・レンズ、指輪、かつら、ヘアピン、入れ歯などは外して下さい。 | 痛みや管の違和感がある場合、痛み止めを使用しますので、我慢せず申し出てください。手術後、医師からご家族へ説明があります | 尿道の管を抜いた後は必ず尿漏れが生じるため、尿取りパッドの準備をお願いします。尿取りパッドの使用方法については、尿道の管を抜去後に看護師が説明します。尿漏れの早期改善に向けて骨盤底筋運動を行いましょう。 | | | 尿量の測定について看護師から説明があります。血尿や尿が出ないなどの症状があれば伝えてください。 | 看護師より退院後の生活についての説明があります。 |
| 備考 | | | | | | | | | |

この説明用紙は、治療のおおよその経過をお知らせするものです。状態に応じて予定が変更になることがあります。ご不明な点がございましたら、お気軽におたずねください。